

## 2020年3月26日 機能強化

ドメイン/Webサービスは、2020年3月26日に以下機能強化を実施しました。

→ドメイン/Webサービス 機能強化のお知らせ ([https://dw.alpha-prm.jp/new/service/2020/0318\\_2339.html](https://dw.alpha-prm.jp/new/service/2020/0318_2339.html))

本資料では以下機能強化内容の操作方法を説明しております。

機能名		ページ数
Webサイト作成(CMS)・レスポンシブメニュー		P. 2
Webサイト作成(CMS)・簡易メニュー／通常メニュー	レスポンシブメニューへの切替え	P.14
	独自SSLの設定	P.15

# Webサイト作成(CMS)・レスポンシブメニュー

Webサイト作成(CMS)に新たに「レスポンシブメニュー」が追加され、レスポンシブデザインに対応したWebサイトの作成が可能になりました。従来の「簡易メニュー」「通常メニュー」をご利用のお客様も、「レスポンシブメニュー」への切替えを行うこともできます。

＜レスポンシブデザインとは＞

Webサイトを閲覧するデバイスに合わせて、画面サイズを自動的に最適化して表示するデザインのことです。これにより、パソコン用、スマートフォン用のページを別々に作成することなくWebサイトを管理できます。

## ■ レスポンシブメニューの特徴

概要	Webサイト作成(CMS)の全機能とテンプレートを使用し、実際のホームページを直接編集している感覚で作成・更新を行えます。
Webサイトの構成	ページ数の制限はありません。 メニューを階層表示できます(3階層まで)。
ファイル名	任意に指定できます。
ページのレイアウト	自由に編集可能です。
Webサイト公開のタイミング	Webサイトの作成・更新を完了した後に、公開作業を行います。
編集者権限	編集権限の設定はありません。
バックアップ	ページごとに、データをバックアップできます。
メニューの移行	簡易メニュー、通常メニューどちらにもデータを移行できます。 メニュー切替え後、レスポンシブメニューに再度切替えることも可能です。

## デザインイメージ

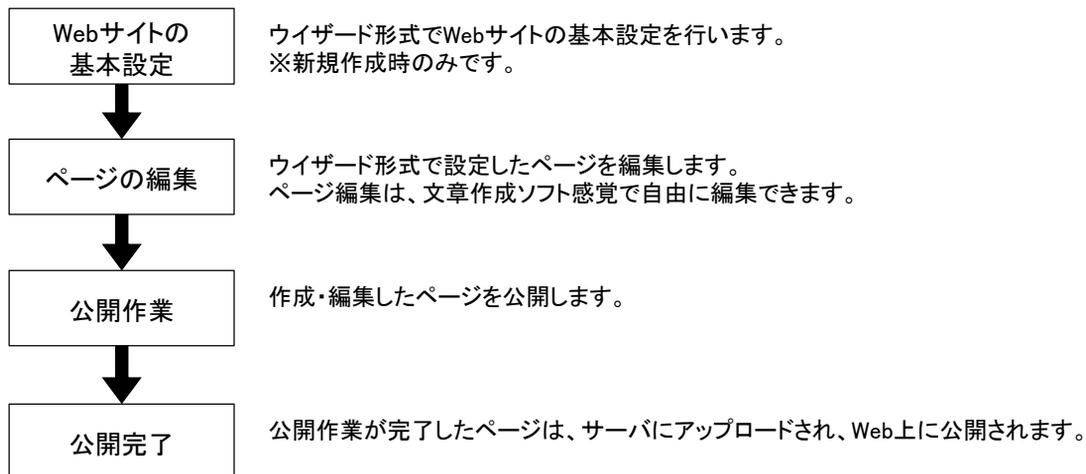
PC



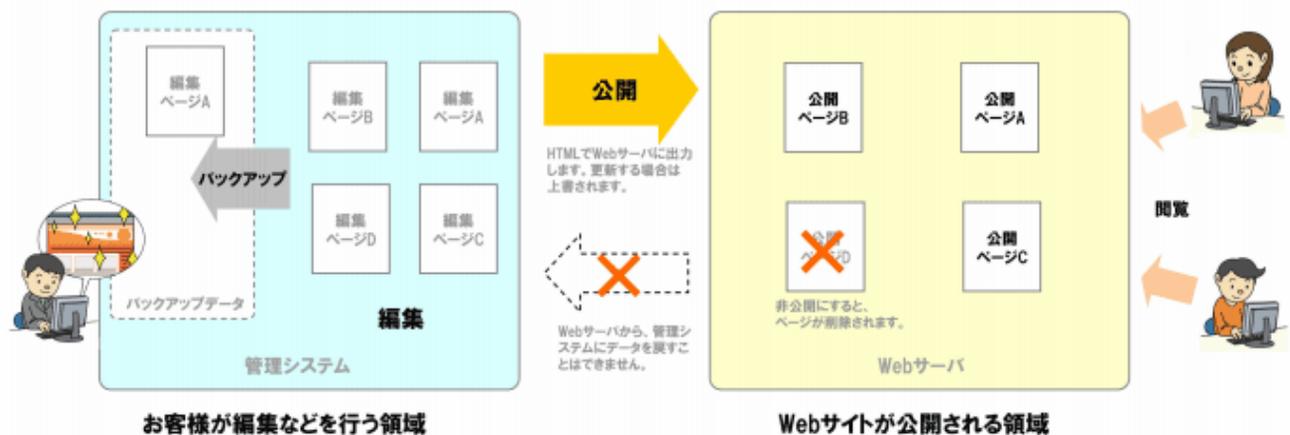
スマートフォン



## 作成したWebサイトの公開までの流れ



## Webサイト作成のしくみ



### ■ ウィザード形式で基本設定を実施後、ページを公開する

レスポンスメニューのウィザード形式でWebサイトの基本設定を行い、ページを公開します。  
 ※初期設定で設定した内容は、ウィザードが完了した後も変更できます。

#### ご注意

Webサイト作成ウィザード画面は、以下の条件の場合のみ表示されます。それ以外の場合は、表示されません。

- Webサイト作成機能に初めてログインする場合
- Webサイトのデータを全削除した後、初めてログインする場合



- 1 管理者機能にログインし、「Web」をクリックし、「Webサイト作成(CMS)」をクリックします。

「Webサイト作成」のご利用にあたって画面が表示されます。



2 注意事項を確認し、「確認しました」をチェックして「次へ」ボタンをクリックします。

「Webサイト作成」作成メニューの選択画面が表示されます。



3 「レスポンスメニューで始める」をボタンをクリックします。

「基本設定について」画面が表示されます。



4 Webサイトの基本設定の流れを確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。

デザインの選択画面が表示されます。



5 設定したいデザインのカラーを選択し、「次へ」をクリックします。

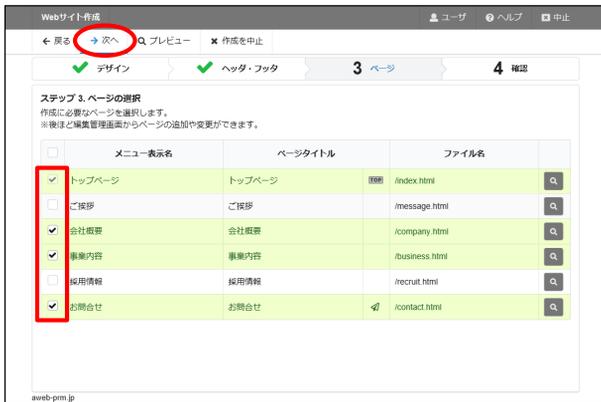
ヘッダ・フッタの設定画面が表示されます。



## 6 必要事項を入力し、「次へ」をクリックします。

サイト名	Webサイトの名称を入力します。
フッタテキスト	Webサイトのフッタに表示する内容を入力します。
コピーライト	コピーライトを入力します。

ページの選択画面が表示されます。



## 7 作成するページを選択し、「次へ」をクリックします。

※ここでは、例としてトップページの外に、「会社概要」「事業内容」「お問合せ」のページを選択しています。以降の手順はこちらのページを選択した場合を例に説明しています。

確認画面が表示されます。



## 8 「完了」をクリックします。

ウイザードが完了し、編集ページの一覧画面が表示されます。



## 9 手順7で選択したページが一覧に表示されています

編集するページの ボタンをクリックします。

※ここでは、例として「トップページ」をクリックします。

ページの編集画面が表示されます。

編集するページにチェックを付けて画面上部の「ページの編集」をクリックしてもページの編集画面が表示されます。

## 10 編集作業を行います。



### ページ編集時の注意事項

- ・編集作業を終えるときは、必ず「編集終了」をクリックし、保存方法を選択してください。保存せずにブラウザを閉じたりすると編集中の内容が削除されます。
- ・編集した内容は「プレビュー」で確認できます。編集内容がどのように反映されるかを確認しながら編集作業を行うことをお勧めします。

### 各パーツの使用イメージを確認するには

左側パーツ一覧の ⓘ をクリックします。  
表示される使用イメージ画面で内容を確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。



### パーツの追加・削除、表示順を変更するには

追加する場合、追加するパーツを選択し、ページコンテンツヘッドラッグ&ドロップするか、➡ をクリックします。

パーツを削除する場合、右上の ✕ をクリックします。

パーツの表示順を変更する場合、パーツ上下の ⬆️ ⬆️ をクリックします。

### 画像を登録するには

「画像を変更する」(P.11)をご覧ください。

### SNSでシェアされる際の設定が可能です

SNSなどでお客様のWebサイトがシェアされる際に表示される画像や説明文を設定することができます。  
設定画面を表示するには、「オプション」→「SNSシェア設定」をクリックします。





**11** 編集作業が完了しましたら「編集終了」をクリックします。

編集終了:ページの保存画面が表示されます。



**12** 「公開待ちにして保存」ボタンをクリックします。

編集ページの一覧画面が表示されます。

**編集作業が完了していない場合**

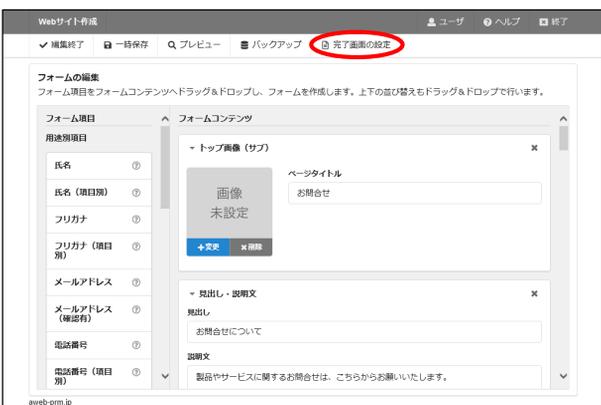
「一時保存」ボタンをクリックします。  
一時保存状態のページは公開することができません。



**13** お問い合わせページ以外のすべてのページ編集が完了しましたら、「お問合せ」の「編集」ボタンをクリックします。

ページの編集画面が表示されます。

「お問合せ」ページにチェックを付けて画面上部の「ページの編集」をクリックしてもページの編集画面が表示されます。



**14** 編集作業を行います。操作方法は手順10を参考にしてください。

編集作業が完了しましたら、「完了画面の設定」をクリックします。

完了画面の設定画面が表示されます。



**15** 完了画面に表示する文章を入力し、「設定」をクリックします。

編集終了: フォームの保存画面が表示されます。



**16** 「公開待ちにして保存」をクリックします。

編集ページの一覧画面が表示されます。

**編集作業が完了していない場合**

「一時保存」ボタンをクリックします。  
一時保存状態のページは公開することができません。



**17** 次に、お問合せフォームの通知メールの設定を行います。

「設定」をクリックし、「お問合せフォームの管理」をクリックします。

お問合せフォームの管理画面が表示されます。



**18** 対象のお問合せフォームを選択し、「通知メール設定」をクリックします。

通知メール設定画面が表示されます。



19 必要事項を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

通知メール設定	通知メールの設定を選択します。
通知メールアドレス	通知メール設定で「通知する」を選択した場合、通知メールを受取るメールアドレスを入力します。
通知メール件名	通知メール設定で「通知する」を選択した場合、通知メールの件名を入力します。

ページの編集画面が表示されます。



20 次に、作成したWebサイトのページにSSLの設定を行います。

「設定」をクリックし、「SSLの設定」をクリックします。

SSLの設定画面が表示されます。



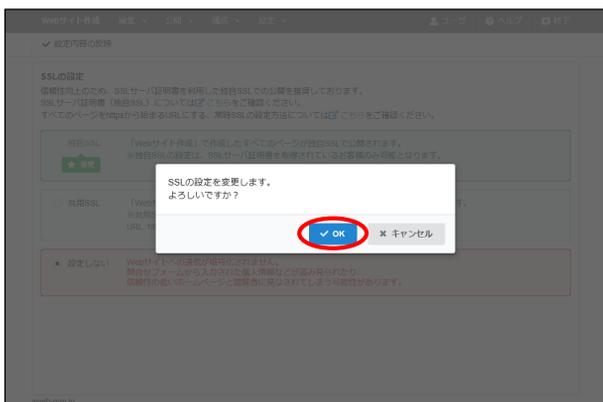
21 SSLの設定を選択し、「設定内容の反映」をクリックします。

確認画面が表示されます。

#### ご注意

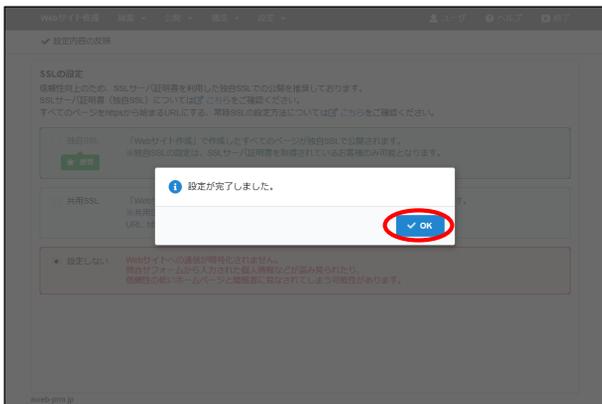
独自SSLを設定するには、別途独自SSL証明書の取得と管理者機能「独自SSL管理」で設定が必要です。

現在独自SSL証明書を未取得でも手順13～19で「お問合せ」ページを作成された場合は、共用SSLを選択して「お問合せ」ページを公開するようにしてください。



22 「OK」ボタンをクリックします。

完了画面が表示されます。



## 23 「OK」ボタンをクリックします。

SSLの設定画面が表示されます。



## 24 次に、編集したページを公開します。

「公開」をクリックし、「ページの公開」をクリックします。

ページの公開画面が表示されます。



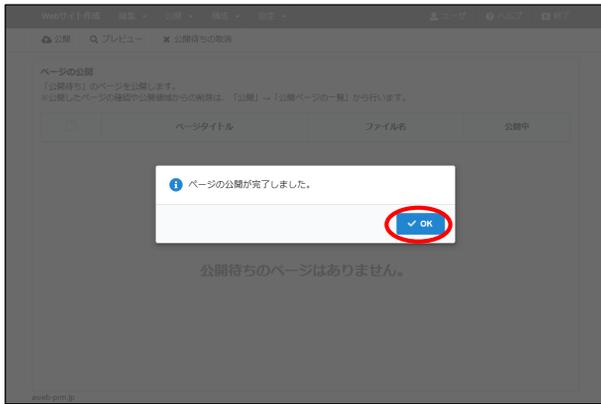
## 25 公開するページを選択し、「公開」をクリックします。

確認画面が表示されます。



## 26 「OK」ボタンをクリックします。

完了画面が表示されます。



## 27 「OK」ボタンをクリックします。

ページの公開画面が表示されます。



## 28 ページが公開されます。

ブラウザで公開したページのURLにアクセスし、公開されたことを確認します。

以上で、設定は完了です。

## 画像を変更する



## 1 「変更」ボタンをクリックします。

画像の選択画面が表示されます。

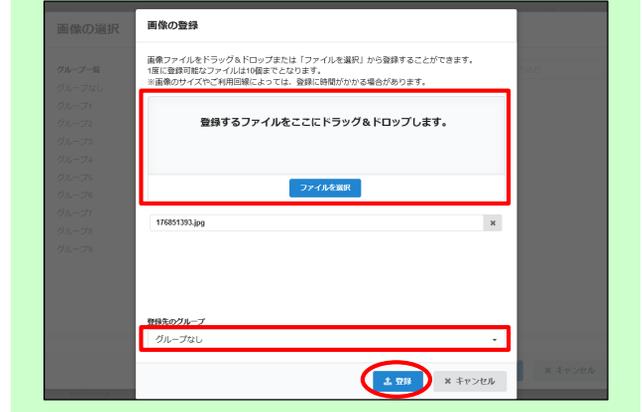


**2** 登録済みの画像を使用する場合、対象の画像を選択し、「選択」ボタンをクリックします。

選択した画像が設置されます。

### 画像を登録するには

1. 手順2の画面で「登録」ボタンをクリックします。
2. 登録するファイルをドラッグ&ドロップするか、「ファイルを選択」ボタンをクリックし登録するファイルを選択します。
3. 「登録先のグループ」を選択し、「登録」ボタンをクリックします。



## ■ レスポンシブメニューの画面、主な機能

ウィザードでの基本設定完了後は、以下の画面から操作します。



## 主な機能

機能名		機能概要
編集	編集ページの一覧	ページ内容の編集や設定、バックアップを行います。 公開中または一時保存しているページを「公開待ち」の状態に変更します。
	画像の管理	Webサイトで使用する画像の登録・削除を行います。 登録した画像を振り分けて管理するグループを設定します。
	リンクするファイルの管理	他のページや外部のページにリンクを設定します。
公開	ページの公開	公開待ちのページを公開領域にアップロードし、ページを公開します。
	公開ページの一覧	公開領域にアップロードしたページを削除して、ページを非公開にします。
構成	ページとメニューの設定	Webサイトのページや、お問合せフォームを追加します。
	デザインの変更	Webサイトのデザインを変更します。
	ヘッダ・フッタの編集	Webサイトのヘッダ・フッタに表示される文言を変更します。
	バナーの設定	Webサイトに表示するバナーを設定します。
	SNSリンクの設定	Webサイトに表示するSNSリンクを設定します。
設定	お問合せフォームの管理	Webサイト上のお問合せフォームに寄せられた内容のダウンロードや削除、通知メールを設定します。
	操作履歴の確認	操作履歴を確認、またはダウンロードします。
	Webサイトの設定	公開するWebサイトの設置先を変更します。
	SSLの設定	WebサイトのSSLを設定します。
	作成メニューの切替え	Webサイトの作成メニューを切替えます。
	データの削除	Webサイト作成の全データ、またはバックアップデータを削除します。

# Webサイト作成(CMS)・簡易メニュー／通常メニュー

## ■ レスポンシブメニューへの切替え

Webサイト作成のメニューを簡易メニューまたは通常メニューからレスポンシブメニューに切替えることができます。メニューを切替えることで、レスポンシブデザインに対応した新デザインでWebサイトを作成・公開できます。

### ご注意

現在、簡易メニューまたは通常メニューで作成されたデータは、レスポンシブメニューに移行することはできません。レスポンシブメニューにてWebサイトを新規作成していただくことになります。

### ポイント

レスポンシブメニューに切替えても、簡易メニューまたは通常メニューで作成されたデータは、そのままシステム側に保存されています。既にサイトを公開されている場合、レスポンシブメニューへの切替時は既存のサイトを公開したままにしておき、レスポンシブメニューで新しくサイトを作成された後で公開することができます。

新しくレスポンシブメニューでサイトを公開すると、既存のサイトは公開領域から削除されますが、データはシステム側に保存されていますので、改めて簡易メニューまたは通常メニューに切替えた後にサイトの公開作業を行うことで元のメニュー（簡易／通常）に戻すことができます。

### ■ 通常メニューの画面



## 1 Webサイト作成画面を表示します。

### ■ 通常メニューの場合

「設定」をクリックし、「レスポンシブメニューへ切替」をクリックします。

### ■ 簡易メニューの場合

「レスポンシブメニューへ切替」をクリックします。

レスポンシブメニューへ切替画面が表示されます。

### ■ 簡易メニューの画面





2 表示内容を確認し、「レスポンスメニューへ切替」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。



3 「レスポンスメニューへ切替」ボタンをクリックします。



4 レスポンスメニューの画面が表示され、作成メニューがレスポンスに切り替りました。

以降は、レスポンスメニューでページ編集や設定等の作業を行います。

## ■ 独自SSL設定画面

「簡易メニュー」「通常メニュー」の「独自SSLの設定」機能において、コモンネーム“www”のあり/なしを選択できます。

### ■ 通常メニューの画面



### ■ 簡易メニューの画面

